


No.	602	<h1>ガラス工芸</h1>			
概要	専用の機械(サンドブラスター)でガラス表面を削って模様を付けて、オリジナル作品を制作する。				
内容	人数(人)	~40人	時間	3時間	
	対象	小学5年生以上	時期	通年	
	場所	創作室【第1・第2】			
	指導形態	自主活動 ・ 職員による事前の説明のみ ・ 職員による直接指導			
安全管理	引率者と担当職員による観察・指導				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガラスの特性を活かし、自分なりの工夫や表現で制作することの楽しさや喜びを感じる。 ○ 互いの作品の工夫や表現を共有する。 				
準備	施設から貸出	ガラス工芸 用具一式			
	団体で準備	【教材】 *いずれかを選んで、事前に「教材等申込書」で制作数をご注文ください。 ○ 中皿 ○ マグカップ			
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスに模様を付けるサンドブラスターの数に限られているため、予め十分な制作時間をとってください。又、切り抜く下絵が細かいほど時間がかかります。 ・教材のサイズにあわせて事前に下絵を準備しておくことで作業時間を短縮できます。 			

	内 容	留意事項
活動前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担当職員との打ち合わせ <ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらいの共有 ・参加人数、グループ編成 ・安全管理 等 ○ 注文した教材の受け取り <ul style="list-style-type: none"> ・種類と個数を確認し、研修場所へ持って行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・引率者と担当職員が一緒に行く。 ○ 教材 <ul style="list-style-type: none"> ・返品可能(特別なものを除く)。
活動の説明	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員による説明 <ul style="list-style-type: none"> ・めあて、安全上の注意 等 ・道具の紹介(個人で使う道具/グループで使う道具) ○ ガラス工芸の技法、作り方について <ul style="list-style-type: none"> ・模様(傷)がつく原理 ・作り方 ・ブラスターの使い方 ○ 道具の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全上の注意 <ul style="list-style-type: none"> ・アートナイフで怪我をしないように安全な使い方や保管の仕方を守る。 ・(作品を割らないために)机上で作業する。両手で持ち歩く、走らない。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制作 <ol style="list-style-type: none"> 1) 下絵を描き、切り抜く。 <ul style="list-style-type: none"> ・下絵を描く。 ・カーボン紙を使って、マスキングテープに書き写す。 ・教材にマスキングテープを貼る。 ・アートナイフでマスキングテープを切りぬく。 2) 模様を付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・ブラスターガンで模様を付ける。 ・マスキングテープをはがし、作品を水洗いする。 ○ 片づけ、掃除 <ul style="list-style-type: none"> ・道具の返却、整頓 ・机、床、流し周辺の掃除 ○ ふり返り <ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞 ・感想 ○ 研修室の点検、退室 <ul style="list-style-type: none"> ・椅子を机の上に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制作のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・切り抜くところ、残すところを考えながら描くようにする。 ・下絵があまり細いと切り抜く作業が大変である。 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・作品を持ち帰る際は割れないように新聞紙等に包むことを勧める。(記名も忘れずに)